

那覇港だより

な は みなと

2014. 6

第 10 号



目 次



1	那覇港管理組合常勤副管理者への就任にあたって	1
2	「ぱしふいっくびいなす」で楽しむディナーとダンスのタベ	2
3	那覇港防災マップを作成しました！	3
4	那覇クルーズターミナル初イベント!!	4
5	那覇港管理組合議会行政視察に行って参りました！	5
6	那覇港管理組合議会議員紹介コーナー（1）	6
7	那覇港管理組合常勤副管理者の退任にあたって	7
8	那覇港とぴっくす（那覇港の動き、那覇港管理組合議会の動き）	8
9	那覇港写真館	9



那覇港管理組合常勤副管理者への就任にあたって

那覇港管理組合
常勤副管理者 金城 勉



このたび、平成 26 年 5 月 30 日付で、那覇港管理組合常勤副管理者に就任しました金城勉と申します。

初代副管理者の堤氏のもとで 3 年（平成 16～18 年度）、前副管理者の藤田氏のもとで 3 年（平成 23～25 年度）那覇港の管理・運営に関わってきました。今回で 3 回目の那覇港管理組合での勤務となります。

私は、昭和 51 年 5 月に県庁土木部に採用され、都市計画事業、道路事業、港湾事業、海岸事業、離島の基盤整備事業等を経験し、また、この間、沖縄総合事務局、県企業局、県土地開発公社、県東京事務所、沖縄市、那覇港管理組合と多くの組織で勤務し、色々な方々と一緒に仕事をさせて頂きました。これらの経験を、今後の仕事に活かしたいと思っています。

さて、那覇港において喫緊に取り組まなければならない課題として、物流関連としては、国際物流（コンテナターミナル、台湾航路、東南アジア航路、企業誘致等）及び国内物流（混雑緩和、効率化等）への対応があります。

人流関連としては、クルーズ及びウォーターフロント等のみなどの賑わいづくり等への対応があります。

また、みなとの安心・安全（防災計画、老朽化対策等）の確保や離島航路の利便性向上も重要なと考えています。

このような課題解決のためには、職員力及び組織力のさらなる強化にも引き続き取り組む必要があります。

このように、副管理者の任務は大変な重責と認識しておりますので、これまでの経験を活かすとともに、関係各位のご指導とご協力を得ながら那覇港の課題解決及び発展のために全力を尽くす所存ですので、どうぞよろしくお願ひ致します。

豪華クルーズ船「ぱしふいいくびいなす」で楽しむ

ディナーとダンスのタベ

(企画建設部企画室)

平成26年4月17日、那覇港に停泊中のクルーズ船「ぱしふいいくびいなす」を活用し、「ディナーとダンスのタベ」と銘打って船内パーティを昨年に引き続き開催しました。

参加者は、100名、性別では男性が33名、女性が67名と、女性の参加者が多数を占めました。今回もクルーズ船社のご協力により、お手軽な料金で、コースディナーとダンスを楽しめることになりました。ダンスタイムの半ばには、お楽しみ抽選会も開催しました。

フルコースのディナー、生バンドの演奏によるダンスタイムなど、多くの方々に楽しんで頂きました。



美味しい食事に大満足♪



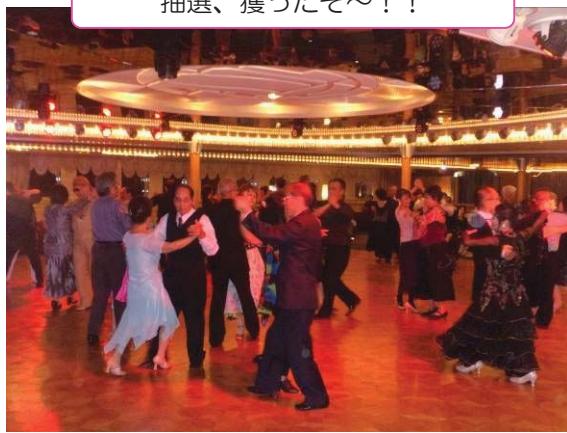
ほろ酔い気分ではいポーズ！



抽選、獲ったぞ～！！



生バンド演奏がBGM♪



那覇港防災マップを作成しました！

(総務部総務課)

昨年、沖縄県から津波被害想定調査結果が公表され、那覇港でも地震発生から34分で最大潮上高8.7mの津波の襲来が想定されています。

この調査結果を受け、那覇港管理組合としても、港湾利用者の人命を自然災害から守るために「那覇港防災マップ」を作成しました。

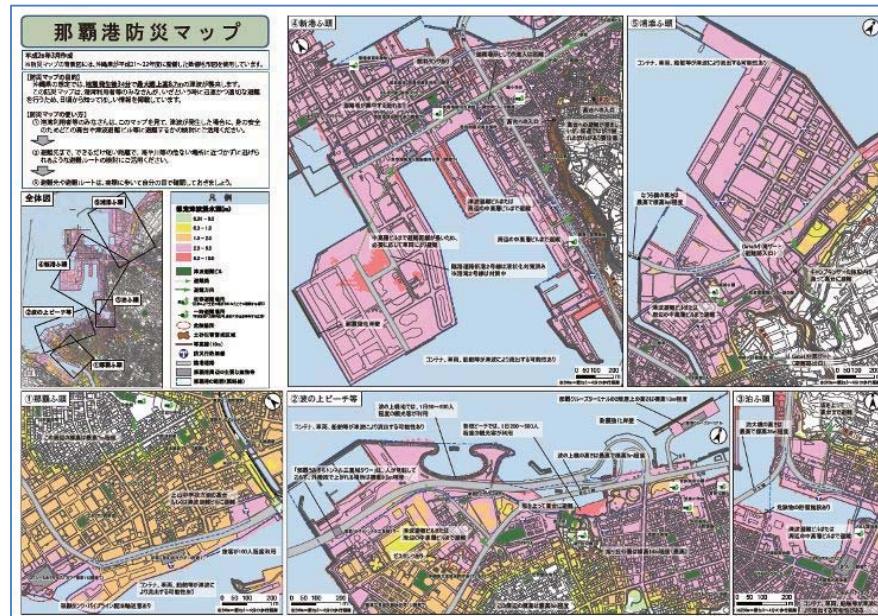
防災マップの表面には、津波などの自然災害から港湾利用者が安全に避難できるよう、現地調査や港湾利用者を対象としたワークショップでの意見を反映し、発災時の避難場所や避難経路などを図示しました。

防災マップの裏面には、津波発生のメカニズムや、津波・地震災害から身を守るためのポイントなど、港湾利用者の防災意識の啓発と正しい防災知識の共有を図るために情報を掲載しました。

この防災マップは、いざというときに活用できるよう、港湾利用者の皆様が、ご自身の避難場所や避難経路を平時に確認していただき、色々な情報を書き込みやすい素材にしてあります。

※「那覇港防災マップ」は、那覇港の港湾利用者に配布するほか、那覇港管理組合のホームページに掲載しています。

※配布を希望される方は、那覇港管理組合総務部総務課（098-868-2578）までご連絡下さい。



那覇港防災マップ（表面）



那覇港防災マップ（裏面）

那覇クルーズターミナル 初イベント！！

(総務部業務課)

那覇港は、観光立県である沖縄の海の玄関口として重要な施設です。

今年4月1日（火）には、クルーズ船寄港時の出入国審査等に必要な施設として「那覇クルーズターミナル」を供用開始しましたが、沖縄観光の更なる飛躍に寄与することが期待されています。

供用後の3ヶ月間で、27回のクルーズ船寄港で約4万人の方が来沖し、乗船客は、観光やショッピングなど沖縄を満喫しています。

さて、当クルーズターミナルは、ご存知のとおり円滑な出入国手続きが行えるようCIQホールが整備されていますが、多目的ホールとしての機能も備えていることからクルーズ船が寄港しない時は音楽系の催しなど多種にわたる利用可能な施設です。

この程、CIQホールのお披露目を兼ねた初イベント、海と音楽と花火の競演「みなとJAM2014」が、5月4日（日）19時より開催されました。

イベントでは、沖縄在住のアーティスト2組が招かれ、素敵なミュージック、フードとドリンクを楽しみながら、那覇ハーリー会場の花火を特等席でご覧いただいたようです。

今後とも、海辺空間を存分に楽しめる那覇クルーズターミナルでの各種イベントにご利用いただけるよう、取り組んでまいります。



伊禮俊一:シンガーソングライター



矢野沙織:ジャズアルトサックスプレイヤー



若狭バースから花火を見上げる来場者



素敵なカップルも……

那覇港管理組合議会行政視察に行って参りました！

(議会事務局)

那覇港管理組合議会（議長：赤嶺昇）では、平成26年5月27日～5月30日の日程で、台湾と香港の先進港湾等を訪問する行政視察を行いました。

1日目は、基隆港を訪問しました。基隆港は、天然の良港として古くから利用されており、年間のクルーズ船寄港回数は約150回に上ることや、運営を民営化し、台北港と蘇澳港を基隆港の補助港と位置付け、物流効率化を図っている事等を教示していただきました。活発な意見交換を行った後、ターミナル内の CIQ 施設等を見学させていただきました。



基隆港への訪問

2日目には、まず、台湾最大の港湾である高雄港を訪問しました。背後地に物流特区等、台湾最大の産業集積地があり、全台湾のコンテナ取扱量の7割を扱っています。琉球海運による沖縄航路が開設されたことや、船社に対するインセンティブとして奨励金制度を設けていること、ふ頭を賃借されることにより収入を得ていること等を教示していただきました。その後、小型船に乗り込み、洋上から高雄港を視察しました。

次に、陽明海運グループが100%出資して設立した好好国際物流センターを訪問しました。常温から-7度の冷蔵、-25度の冷凍まで温度管理ができる倉庫を有する唯一の物流センターであり、食品や医療資材など様々な貨物を ICT 管理により取り扱っていること、物流センターの設置には事前に入念なマーケット調査が重要であること等をご教示いただき、施設見学や活発な意見交換を行いました。



好好国際物流センターでの意見交換

3日目は、香港に渡航し、昨年オープンしたカイタッククルーズターミナルを視察しました。移動中の車窓からは、2,400万 TEU 以上の貨物を取り扱う香港港を見ることができました。

さらに、沖縄から輸出された製品が香港の消費者に届けられる現状を視察するため、ワンチャイ地区にある百貨店も見学しました。

また、2012年に那覇港に寄港していただいたオリエンタルドラゴン号 のほか、チャイナスター号など4隻のクルーズ船を運営するメトロポリスグループを訪問しました。日本の総代理店（株）和の優の社長にも同席していただき、チャイナスター号の船内を見学させていただいた後、意見交換や那覇港への寄港をお願いしました。今後とも連携し、双方の発展のために協力していくことを確認しました。



カイタッククルーズターミナルの視察



チャイナスター号の船内見学

那覇港管理組合議会議員紹介コーナー<1>

那覇港管理組合は、沖縄県・那覇市・浦添市が共同して那覇港湾に関する事務を行うために設立された地方公共団体で、組合独自の議会が設置されています。

那覇港管理組合の議会は、定例会が年3回、臨時会や特別委員会が不定期に開催されます。また組合の議員は、それぞれ沖縄県(5名)・那覇市(3名)・浦添市(2名)の各議会から合計10名が選出されています。

今回から、数回に分けて、那覇港の港湾行政に対する各議員のコメントと一緒に紹介していきます。



具志孝助議員（県議会選出）

那覇港は、近年港湾の整備も順調に進み、ガントリークレーンも整備され、総合物流センター整備事業も着手され、国際物流特区が那覇港を中心に5市に拡大されたことを契機に関連企業の立地が期待される。クルーズは、沖縄観光の好調の波に乗り今後大いに期待できるが課題は物流である。近隣の台湾、香港の港に溢れるほど山と積まれたコンテナ貨物を見せられ茫然としておれない。アジアに向けた日本

のフロントランナーの名においても官民一体となって頑張っていかなければならぬ。



宮里弘和議員（浦添市議会選出）

浦添市議会議員宮里弘和でございます。浦添市より派遣され那覇港管理組合議会議員として2年目になりました。那覇港の歴史は琉球王国の交易時代から、明治、大正、昭和、それから太平洋戦争を経て、本県の物流及び人流を担ってきました。今日では那覇空港と並び沖縄県の玄関口として県内外に知られております。そして、那覇港は県内の生活物資の多くを取り扱う港湾施設として重要性はますます高まっています。今後は防災、減災の考えを取り入れた物流機能を充実す

る必要があります。また、沖縄の観光が大きな産業と期待されており、沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大事にしながら、20年先、30年先を見据え那覇港の計画と整備に取り組む必要があると考えています。そのことを踏まえ安心、安全な社会を創造し、雇用促進や地域産業発展の立場で、組合議会で取り組んでまいります。



西銘純恵議員（県議会選出）

2003年から18年までの長期計画の期限は4年後である。当時の常勤副管理者は国際港湾の専門家、ポートセールスのエキスパートとして鳴り物入りで就任した。彼は、国際コンテナ貨物を睨んだ政府のスーパー中枢港湾政策の中で、那覇港は日本初のトランシップ貨物を運営する港に位置付けられたと豪語したが、4400億円の港湾事業の実績は、トランシップ貨物はゼロ、外貿コンテナ貨物量も横ばいである。莫大な県民の税金をつぎ込む大型公共事業に、採算性、必要性、県経済の振興の立場で大いなる議論が必要である。

那覇港管理組合常勤副管理者の退任にあたって

(藤田佳久)



退任にあたりまして、一言ごあいさつをさせて頂きたいと思います。

4年間の任期を全うすることができたのも、ひとえに皆様のおかげだと感謝しております。

特に、仲井眞管理者におかれましては、那覇港のあるべき姿の基本的な方向性というものを明確にして頂きました。また、組合議会の皆様におかれましては、よりよい港湾行政にしていくという観点から、活発なご議論や色々なご指摘をして頂きまして、我々執行部としても大変勉強をさせて頂きました。お礼を申し上げたいと思います。

さらに、非常勤の副管理者はじめ、那覇港管理組合の職員が一丸となって、多くの課題に前向きに取りくんでいたことにより、この4年間、一步一步ではありますが、那覇港も着実に発展してきたと確信しております。

この4年間を振り返りますと、私が就任した時に大変驚いたことの1つは、ふ頭通過料の問題です。港湾利用者が那覇港管理組合との間で料金の支払いをめぐって裁判で争っているという状況でございました。

港湾管理者の業務には、華やかな国際物流やクルーズ振興というのもございますけれども、それ以前に港湾管理者としての日常業務が大変重要であると思っております。本来港湾管理者としてのやるべき日常業務というものが、実は必ずしもうまくいってなかつたところもあったかと思います。けれども、その裁判も解決いたしまして、港湾管理者としての基本である日常業務、港湾運営の業務というものが、少しずつではありますけれども前進してきていると、私としては考えているところでございます。

クルーズ振興につきましては、おかげさまでそれなりの成果を上げられたのではないかと思います。

特にボイジャー・オブ・ザ・シーズという超大型クルーズ船を那覇港に誘致し、施設面でも、乗客の皆様の乗下船等のソフト面でも、那覇港が超大型クルーズ船に十分対応できるということを国内外にPRできたというのは、非常に大きな成果だったのではないかと思います。

一方、国際物流については、残念ながら貨物量の増加という目に見える形での成果はまだ出ていないわけでございますけれども、社会実験等を通じて、管理組合自身が荷主の方々とのいろいろなネットワークを作り、具体的な課題等を検討ができるような体制を構築することができました。また、コンテナ混載事業も定着化したということもあります。

やはり貨物を増やしていくためには、施設面での不自由さを改善する必要があり、仲井眞知事が非常に頑張って創って頂きました沖縄振興特別推進交付金を活用させて顶いて、ガントリークレーンや、リーファー電源の整備等にも着手できたところでございます。那覇港総合物流センターをつくり、港湾地区で貨物を創っていくという取り組みも緒についたということで、ぜひこの総合物流センターのほうも実現して頂きたいと思っております。

いろいろ課題が山積する中で、その課題を皆様に残したまま退任するというのは心苦しいですけれども、ぜひ新しい金城常勤副管理者のもとに、協力、一致団結して頂いて、那覇港の発展に取り組んで頂きたいと思います。

沖縄の将来のことを考えると、やはり国際物流・交流というのも非常に重要ではないかと考えます。

シンガポールを今日の発展に導いた人にリー・クアンユー(李光耀)という方がおられます。その人は、「島国の経済のレベルというのは、その国の港と空港のレベルを超えることはできない」という言葉を残しております。沖縄もまさにそうではないかなと思います。

そういう重要な港湾を担当している那覇港管理組合、あるいは那覇港管理組合議会の皆様が力を合わせて、沖縄のためにますます那覇港を発展させていただけることを祈念して、私の退任のごあいさつとさせていただきます。

(平成26年第3回那覇港管理組合議会（5月臨時議会）における退任挨拶より)

那覇港とぴつくす

4月6日(日)



波の上ビーチ海びらき

・辻側ビーチにおいて、指定管理者の「NAHAえんがん共同企業体」主催による「2014年波の上ビーチ海開き」が行われました。安全祈願祭後、海開きセレモニーが行われ、那覇港管理組合の藤田副管理者、組合議会の知念副議長等による挨拶、子供達のエイサー等が行われ、少し冷たい海でしたが、子供達は元気に初泳ぎを楽しんでいました。フラダンス、降雪ショー、豪華アーティストによるライブ等も行われ、大いに盛り上がりました。

5月16日(金)



那覇港振興協議会

・那覇クルーズターミナル多目的ホールにおいて、平成26年度那覇港振興協議会総会が開催されました。総会では、平成25年度事業報告及び決算報告がなされ、平成26年度事業案(全日本港湾振興団体連合会総会への出席等)及び予算が承認されました。

5月8日・22日



監査委員、常勤副管理者の承認

・5月臨時議会において議会の同意を得て、任期満了となった座間味浩監査委員の後任に杉山忠司氏が就任しました。また、同じく任期満了となつた藤田佳久常勤副管理者の後任に前参事監兼企画建設部長の金城勉氏が就任しました。

5月23日(金)



ガントリークレーン3号機の設置

・那覇港で3基目となるガントリークレーンを設置しました。高さ67.8m、重量約1200t、18列積み対応であり、既設のクレーン2基より大型であり、より大きなコンテナ船へ対応が可能となります。5月23日に那覇港国際コンテナターミナルの岸壁へ設置され、各種調整などを経て6月30日に完成、7月初旬には供用を開始する予定です。

那覇港管理組合 今後の主な予定

○那覇港管理組合議会8月定期会(8月中旬)

○臨港道路若狭2号線完成・供用式(8月下旬)

～那覇港管理組合議会のうごき～

5月臨時議会の開催(5/8)

下記の議案が可決・認定されました。

○議案第1号：

監査委員の選任について

5月臨時議会の開催(5/22)

下記の議案が可決・認定されました。

○議案第1号：

那覇港管理組合特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○議案第2号：

常勤副管理者の選任について

行政視察の実施(5/27～30)

○先進港湾である台湾(基隆、高雄)、香港に、組合議員が行政視察を行いました



那霸港写真館



新造船から望む那覇クルーズターミナル



夜間出港前のダイアモンド・プリンセスと 那覇クルーズターミナル



うみそら公園とボイジャー・オブ・ザ・シーズ

* * * * 那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先 * * * *

那霸港管理組合総務部総務課(担当:福原)

〒900-0035 那霸市通堂町2番1号

TEL : 098-868-2578 FAX : 098-868-2629

e-mail: kumaij@nahaport.jp